

案	側面図	断面図	比較検討項目			判定
			評価項目	評価項目に対する考察	評価点	
第1案 複合門形ラーメン橋			1. 経済性	<ul style="list-style-type: none"> 上部工 47,700千円 (381千円/m²) 下部工 35,200千円 (17,600+17,600) 建設費 82,900千円 (1,000, 第1位) 維持補修費 20,500千円 合計 103,400千円 (1,000, 第1位) (826千円/m²) 得点 50-50×(103,400/103,400-1,000) = 50 	50/50	第1位 86/100
			2. 構造的性	<ul style="list-style-type: none"> 施工件数は増加して、施工実績は普通。[-2] 耐久性は普通。[-2] ラーメン構造で、レベル2地震動の検討を行い耐震性が良い。 	6/10	
			3. 施工性	<ul style="list-style-type: none"> H鋼主桁は工場制作であり、現場作業は単純で工期が短い。 H鋼主桁重量が軽く50tクレーン程度での架設となる。 主桁は継手構造と考えるが、地組の施工ヤードは確保可能である。 横繫ぎ鉄筋の施工に制約がある。[-3] 	7/10	
			4. 走行性	<ul style="list-style-type: none"> 桁剛性が大きく、ラーメン構造でたわみが小さい。 H鋼・コンクリートの複合橋であり、路面凍結性に優位である。 ラーメン構造であり、ジョイントを設けない構造である。 	5/5	
			5. 環境への適応性	<ul style="list-style-type: none"> 構造的に振動し難く、ジョイントもなく騒音が少ない。 桁高が最も低く、取り付けに有利である。 	5/5	
			6. 維持管理面	<ul style="list-style-type: none"> 伸縮装置も無く維持管理が少ない。 桁下面に対し定期的な塗装の塗り替えが必要である。[-7] 	13/20	
第2案 プレテンション床版橋			1. 経済性	<ul style="list-style-type: none"> 上部工 35,500千円 (303千円/m²) 下部工 51,200千円 (25,600+25,600) 建設費 86,700千円 (1,046, 第2位) 維持補修費 28,900千円 合計 115,600千円 (1,118, 第2位) (987千円/m²) 得点 50-50×(115,600/103,400-1,000) = 44 	44/50	第2位 80/100
			2. 構造的性	<ul style="list-style-type: none"> 施工実績は多数。 耐久性は普通。[-2] 上部工死荷重が重く、下部構造に対する負担が大きい。[-2] 	6/10	
			3. 施工性	<ul style="list-style-type: none"> 主桁は工場制作であるが、現場作業量は多少多く工期は普通。[-3] 主桁重量が重く200tクレーン程度での架設となる。 主桁は工場制作で、仮置きヤードが必要であるが確保可能である。 	7/10	
			4. 走行性	<ul style="list-style-type: none"> 桁剛性が大きく、たわみが小さい。 コンクリート橋であり、路面凍結性に優位である。 一般的な単純桁であり、橋台部にジョイントがある。[-1] 	4/5	
			5. 環境への適応性	<ul style="list-style-type: none"> 主桁が重く振動し難いが、ジョイントの騒音がある。[-1] 桁高が低く、取り付けにやや有利である。[-1] 	3/5	
			6. 維持管理面	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理が多少多く、やや劣る。[-4] コンクリート桁で塗り替えの必要がない。 	16/20	
第3案 単純合成H形鋼橋			1. 経済性	<ul style="list-style-type: none"> 上部工 36,600千円 (312千円/m²) 下部工 51,600千円 (25,800+25,800) 建設費 88,200千円 (1,064, 第3位) 維持補修費 32,100千円 合計 120,300千円 (1,163, 第3位) (1,027千円/m²) 得点 50-50×(120,300/103,400-1,000) = 42 	42/50	第3位 60/100
			2. 構造的性	<ul style="list-style-type: none"> 近年の施工実績は普通。[-2] 耐久性は普通。[-2] 上部工死荷重が軽く、下部構造に対する負担が小さい。 	6/10	
			3. 施工性	<ul style="list-style-type: none"> 主桁は工場制作であるが、現場作業量は多く工期はやや長い。[-3] H鋼主桁重量が軽く70tクレーン程度での架設となる。 主桁は継手構造と考えるが、地組の施工ヤードは確保可能である。 	7/10	
			4. 走行性	<ul style="list-style-type: none"> 桁剛性が小さく、たわみが大きい。[-1] 鋼橋桁であり、路面凍結性に劣る。[-1] 一般的な単純桁であり、橋台部にジョイントがある。[-1] 	2/5	
			5. 環境への適応性	<ul style="list-style-type: none"> 主桁が軽く振動しやすく、また、ジョイントの騒音がある。[-2] 桁高が最も高く、取り付けに不利である。[-3] 	0/5	
			6. 維持管理面	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理が3案の中では一番多い。[-7] 鋼桁で定期的な塗装の塗り替えが必要である。[-10] 	3/20	